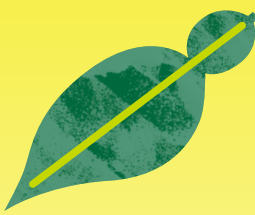


Y
O
R
O
M
A
A

毛呂山

毛呂山町勢要覧
合併60周年記念

新しき、
住みやすき町



新しき、住みやすき町

＊自然

ゆず生産者

里山の風景が美しい。

山あいの開けた場所に位置する毛呂山町滝ノ入地区。地区内を流れる清流毛呂川と桂木川沿いに集落が点在し、畑や果樹園が広がる、のどかな里山の風景をなしています。この地区は、古くからゆずの栽培が有名で日本最古とも言われています。毛呂山町のゆずは、特に香りが高いことで知られており、その風味を生かしたジャムなどの加工品も人気があります。また、毎年12月に同地区で行われる「ゆず祭り」には、県内外から多くの人たちが毛呂山のゆずを求めてやってきます。



にしていかなければならないものなのでしよう。

ゆず生産者 初野健一さん夫婦

「毛呂山のゆずの特徴は、何ととっても香りが高いことです。私の家でも100本程度を栽培していますが、初冬を迎えると黄金色に輝くゆずの香り、里山はさわやかな空気に包まれます。また周辺には、滝ノ入

都心から約1時間で訪れる事のできる毛呂山町。このような里山の風景は、現代社会において多くの人々が求めてやまない日本の原風景なのではないでしょうか。里山の豊かな自然とともに暮らしてきた人びととその風景。それらが町の財産であり、これからの時代に求められる価値として、大切

ローズガーデンやゆずの里オートキャンプ場などもあります。ぜひ里山を散策してみてください。」

Beautiful countryside.

The Moroyamamachi Takinoiri district has been a major cultivator of Yuzu (Japanese citrons) for many years, and is said to be the first area in Japan to specialize in the fruit. Many people, both from the prefecture and beyond, come to visit the area during the Yuzu Festival held every December. The beautiful, natural countryside and the lifestyles of the people who live here are some of the most valuable assets Moroyamamachi has to offer the future.



■ 気軽にアウトドアを満喫

ゆずの里オートキャンプ場

家族連れで気軽に楽しめるオートキャンプ場。都心からも手ごろな距離で、車で来て、手間なくアウトドアを満喫できることから、リピーターが多いのが特徴です。清潔な炊事場や温水シャワー室、ランドリーなどの設備が揃い、快適に過ごすことができます。また、近くの小川も整備され、小さな子どもも安心して遊べます。



Yuzu no Sato Auto Campsite

An auto campsite that can be enjoyed by the whole family. Close to the city center, for easy access to outdoor fun.

■ 里山の風景に溶け込んだバラ園

滝ノ入ローズガーデン

ぐるりと山に囲まれた美しいバラ園。地元ボランティアグループにより手入れが行き届き、のんびりと散策を楽しめます。約3,000㎡の園内には、400種類、1,500本のバラが植えられ、周囲の里山の風景に溶け込み、とても美しい景観を作っています。春と秋にバラ祭りが開催され、多くの人でにぎわいます。



Takinoiri Rose Garden

The Takinoiri Rose Garden offers a beautiful vista, with approximately 1,500 rose bushes in 400 varieties. Rose festivals are held both in spring and autumn.



Lake Kamakita

Lake Kamakita is a small lake, approximately 2km in size, that is surrounded by beautiful landscapes that include cherry blossoms in spring, new greenery in early summer, changing leaves in autumn and scenery in winter.

■ 四季をとおして楽しめます

鎌北湖

別名「乙女の湖」と呼ばれ、春の桜や初夏の新緑、秋の紅葉のほか、冬景色も美しい人気のスポット。奥武蔵自然歩道の入り口にもなっているため、たくさんのハイカーが訪れ、四季折々の自然を楽しんでいます。周囲2kmほどの小さな湖で、周りを散策できるほか、ボート遊びやヘラブナ釣りを楽しむことができます。

COLUMN

こがしいい!!

もろやま愛情特産品

毛呂山の特産品といえば、なんといっても「ゆず」だよね。香りが良いのが特徴で、毛呂山町のゆずはブランドなんだ。「ゆずうどん」、「ゆずワイン」、「ゆずまんじゅう」などの製品開発も行われているよ。その他にも、地元農家の皆さんが作るゆずジャムやゆず巻きもおいしいよね。あと、卵やしいたけも有名なんだよ。



Yuzu, Moroyamamachi's Beloved Specialty

Yuzu (Asian citrons) are a specialty of Moroyamamachi. Moroyamamachi brand yuzu are fragrant and juicy.





次世代を担う子どもたちを心身ともに調和のとれた人間に育てていくためには、質の高い教育が重要です。毛呂山町では、子どもたち一人ひとりの個性や能力を伸ばすとともに、自ら考え行動できる主体性や、社会の変化に対応できる柔軟性を身に付けることを重点目標に、創意と工夫に満ちた教育を推進しています。町では、子どもたちが学ぶ喜びを実感すること、知る喜びへとつながるようなきめ細やかな指導を行っています。

川角中学校は、平成26年に校舎の大規模改造工事が終了し、木質化された校舎で日々生徒は学んでいます。新しくなった校舎を訪れると生徒たちの礼儀正しい挨拶が迎えてくれます。また、掃除が敷

地の隅々まで行きわたり、どこにもごみが落ちていないことに驚かされます。川角中学校では、勉強に加え、生活習慣など毎日の行動を大切に考え、生徒一人ひとりに対し、丁寧に指導が行われています。

川角中学校 杉内智哉教諭

「本校には、「あたり前のことをしっかりとやる」という生活目標があります。生徒は日ごろの挨拶から始まって、勉強はもちろん、教室の掃除や整理整頓など、毎日の行動を大切に考え、課外活動までその姿勢をいきわたらせています。日に日に成長していく生徒の姿を見ていると、将来がすごく楽しみです。」

子どもたちにも人気です

毛呂山町立図書館

開館以来、町民から親しまれ、連日多くの人利用する図書館。小・中学校が近くにあるため、子どもたちも多く訪れます。一般図書のほか、マンガやDVD、CDが充実。おはなし会や子ども映画会など、催し物も盛んに企画されています。



Moroyamamachi Public Library

In addition to books, the library also features a full range of manga, DVDs, CDs and other media. The library also holds many special events.

お米作りの大変さを学びます

農業体験学習

町内の各小学校では、田植え、稲刈りなどの農業体験を実施し、食べ物大切さを勉強しています。自然や地域の人との関わりを広げ、お米を作ることの大変さを学びます。収穫したお米は、児童自らがおにぎりや、お餅にして食べています。



Hands-On Agricultural Learning

At each elementary school in the area, children take part in rice planting, harvesting and other agricultural activities, to help them learn about the importance of foodstuffs.

地元で活躍しています

地域と生徒との交流

地域との交流は、自立心を促すとともに郷土愛を育みます。例えば、毛呂山中学校の吹奏楽部は、とても意欲的に活動。コンテストなどに出場しているだけでなく、ゆずの里商店街の桜まつりなどの地域イベントでも場を盛り上げてくれます。



Interaction between the Community and Students

Interaction between students and the community helps to foster both self-reliance and hometown pride.



新しき、住みやすき町 * 教育

子育てするのにも、 ふさわしい。

川角中学校

COLUMN

ここが いい!!

旭台保育園とゆずの里保育園

Asahidai Preschool and Yuzu no Sato Preschool

Moroyamamachi features two public preschools. Yuzu no Sato Preschool was constructed with ample use of prefecturally produced timber.

毛呂山町には、町立の保育園が2園あるんだ。ぼくもよく遊びに行くけど、どちらの保育園のお友だちもすごく元気だよ。平成25年4月に開園したゆずの里保育園は、いたる所に県産の木材が使われていて、木のぬくもりを感じられる空間になっているんだよ。



旭台保育園



ゆずの里保育園

A great town for raising children.

Moroyamamachi believes in innovative and creative approaches to education, that nurture the individuality and talents of children while also developing the confidence to act independently and the flexibility to adapt to changes in society. In 2014 the Kawakado Middle School building was remodeled using natural wood materials. Careful instruction is carried out in the new school building, stressing not only academics but also everyday life choices and actions.

それだから、 安心してできる。

社会福祉法人
毛呂病院



■ 地域福祉の推進のために

毛呂山町社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的に設置された団体です。福祉のことを地域住民に広く知ってもらうために活動しており「ふれあい広場」などのイベントも主催しています。ふれあい広場では様々な催しが企画され、楽しみながら、地域の福祉を知る機会となっています。



Moroyamamachi Social Welfare Council

The council holds a variety of events in the public square to help educate people about local welfare initiatives.

■ 憩いとやすらぎの場です

老人福祉センター山根荘

老人福祉センター山根荘は、健康で生きがいのある生活を送ってもらうための施設で、現在19のサークル団体が日々活発に活動しています。またセンター内には、図書館、娯楽室、談話室、売店などが完備されて、憩いとやすらぎの場として、多くの高齢者に喜ばれています。



Yamaseso Senior Citizen's Welfare Center

Many senior citizens in the area appreciate the center, which helps them to lead healthier and more fulfilling lives.

■ 100万歩をめざします

国保いきいきウォーキング事業

町民の健康増進を図ることを目的に始められた事業で、5か月間の日常生活で、100万歩をめざして歩いていただく事業です。コースや歩き方は自由で、達成者には完歩賞を贈呈。10月には、町内12kmを歩く「国保いきいきウォーキング大会」を実施しています。



National Health Fit and Active Walking Program

A program encouraging people to walk 1 million steps every 5 months in the course of their daily lives.



毛呂山町では、すべての町民が健やかに、そして安心して暮らせる社会を目指して、医療・保健・福祉の充実に努めています。毛呂山町の医療における大きな特徴が、埼玉医科大学病院が町内にある事です。高度医療を受けられる機関が身近にあることは、いざ病気になった際にもすぐにかかることができるという、安心感を与えてくれます。町内の医療機関との連携も進められており、例えば、かかりつけの病院や医院から紹介された患者を大学病院が受け入れ、必要な検査や治療を施した後、継続的に治療が必要な場合は、再びかかりつけの病院や医院で対応するなど、お互いが役割分担することで、地域に密着した医療サービス

の構築が図られています。

また、保健センターでは、乳幼児から高齢者まで様々な世代の人の健康に関する事業を展開し、町民の健康保持、増進を促し、疾病の予防を図っています。

毛呂病院光の家療育センター

丸木和子センター長

「この町の人びとには、弱い立場の人を支えていこうとする精神が培われていると思います。埼玉医科大学病院や毛呂病院などの医療、福祉施設がここまで大きく成長してこれたのも、地元の人びとの温かい支援があつてのことです。これからも地域医療、地域福祉の担い手として町の発展に協力していきたいと思えます。」

COLUMN

こがしいい!!

保健センターと埼玉医科大学病院

毛呂山町の特徴のひとつとして、町内に大学病院があることがあげられるね。必要な時に高度な医療を受けられる機関が身近にあるだけで安心できるし、個人医院との連携もしっかりしているから、一貫性のある医療を提供してもらえるんだ。また、町の施設・保健センターも大学病院としっかり連携しているから、安心して暮らせるんだよ！



Health Centers and Saitama Medical University Hospital

The university hospital in Moroyamamachi offers sophisticated medical treatments, and cooperates with individual clinics and health centers to ensure peace of mind.



保健センター



埼玉医科大学病院

Peace of mind.

Moroyamamachi strives to provide full medical, hygiene and welfare services to ensure that all residents can enjoy good health and peace of mind. For instance, the university hospital accepts patients referred from family hospitals and clinics. If, after exams and treatment, further care is necessary, it can be continued by the original referring doctor or clinic. Dividing duties in this way helps to foster community-centric medical care.

歴史と文化の香り、 漂う。

新しき、住みやすき町

*歴史・文化

出雲伊波比神社の流鏑馬

950年の歴史を誇る出雲伊波比神社の流鏑馬は、流派による武芸ではなく地域に伝えられてきた祭りとしての流鏑馬で、古式ゆかしい式次第によって進行するのが特徴です。毎年春と秋に行われ、秋の流鏑馬は15歳前後の少年が射手となり、祭りの日まで禊を繰り返して流鏑馬にのぞみます。春の流鏑馬は、7歳前の幼な子が射手となります。どちらも地域から選ばれた子どもが矢を放ち、地域が安らかであるように願います。

秋の流鏑馬を行う馬は、3つの当番区から出されており、先頭を走る一の馬は白で源氏、続く二の馬は紫で藤原氏、最後の三の馬は赤で平氏を表しているといわれています。また、乗り子である射手

が少年であることは、全国的にも珍しく、あどけなさが残る若武者が疾走する馬上から弓を射る姿が観客を魅了して止みません。

流鏑馬の乗り子の親子

稲垣博也さん・結平くん

「私の息子は、今年の流鏑馬で一匹の馬の乗り子を務めました。小学5年生から3年連続で乗り子を務めましたが、事故なく大役を務められてよかったです。私も子どももこの息子と同じく流鏑馬の乗り子を務めましたが、親子二代で流鏑馬の乗り子を務められたことは、とても誇りに思っています。息子の乗り子は今回で終わりますが、次は孫に期待しようと思っています。」



Rich in history and culture.

Yabusame (horseback archery) at Izumoiwai Shrine is a traditional custom dating back 950 years. Ceremonies are held every year in spring and autumn. The archers for the autumn event are young boys of around age 15, and the archers for the spring event are children younger than 7. Riders of such young age are rare throughout Japan, and spectators are captivated by seeing these youthful and innocent archers deftly shoot while mounted atop galloping steeds.

■ 文豪がめざした理想郷

新しき村

明治末期から昭和初期に活躍した文豪・武者小路実篤が、理想郷をめざして築いたのが「新しき村」。九州ではじまったこの取り組みは、昭和14年に毛呂山町に舞台を移します。その精神は今も引き継がれ、村民が美術館の運営や自給的な共同生活を送っています。



Atarashiki-Mura

Saneatsu Mushanokoji designed Atarashiki-Mura ("New Village") to be an ideal community. It was moved to Moroyamamachi in 1939.

■ 守り継がれています

獅子舞の奉納

かつては町内8か所で行われていたもので、五穀豊穡や無病息災を祈願する地域信仰として、その土地ごとに伝えられてきました。現在は、葛貫、大類、滝ノ入、川角の4地区で、毎年10月に開催。地域の方で守り継がれています。



Shishimai (Lion Dance)

A locally preserved custom, the Shishimai is performed in four districts every October: Tsuzuranuki, Orui, Takinoiri and Kawakado.

■ 当時の面影を残しています

鎌倉街道

「いざ鎌倉」で有名な鎌倉街道が、町内東部を縦貫しています。街道筋には史跡が多数残っているほか、街道跡の保存状態が良好で、当時の面影を色濃く残していることから、今も多くの歴史ファンが訪れます。

また、街道跡のある大類地区の付近には苦林野古戦場や川角古墳群など歴史スポットが点在しています。



Kamakura Kaido (Kamakura Highway)

Kamakura Kaido runs through the eastern portion of Moroyamamachi. These ancient roads are replete with history.

COLUMN

こがしりり!!

歴史民俗資料館

町の歴史や文化のを知りたい時は、ここに行くといいよ。関連資料を系統的に集め、保存・研究している施設で、とても分かりやすく教えてくれるんだ。また、テーマを決めてそれらを展示・公開したり、講座や体験学習を開催するなど、町や地域に関心を持つ機会を与えてくれる場所でもあるよ。



History and Folklore Museum

The museum collects materials related to the town's history and culture, and engages in preservation and research.





新しき、住みやすき町 * 産業振興・観光

このにぎやかさが、心地いい。

産業まつり



みんなで企画しています

しょうてんがい 笑店街まつり

商店街や第一団地の皆さんの企画によるイベント。第一団地商店街を歩行者天国にして、お神輿あり、太鼓あり、プラスバンドあり、よさこいあり……という盛りだくさんの内容。楽しみながら、地域の活性化に一役買っています。



Shotengai Festival

The Daichi Danchi Shotengai (shopping street) is closed off to vehicle traffic, and a variety of stimulating local events are held.

真夏の夜を盛り上げます

毛呂本郷夏祭り

「お天王様」として古くから親しまれ、厄除けとして行われてきました。夜の闇のなか、笛や太鼓の音が街中に響きわたり、幻想的に光る山車の引き回しが最大の見どころです。盛夏に行われる毛呂山の代表的なお祭りのひとつです。



Morohongo Summer Festival

Held at the height of summer, this has been a familiar staple for many years and is one of Moroyamamachi's most famous festivals.

晩夏を彩る華やかな花火大会

サマーフェスティバルもろやま

毎年、8月末に開催されるサマーフェスティバルもろやま。平成26年には第11回を数え、すっかり晩夏の風物詩となりました。当日は、花火大会のほかに、よさこいや民謡が行われ、会場はおおいに盛り上がります。



Summer Festival Moroyama

This festival is held every year in late August. 2014 marked the festival's 11th year.

第5代ゆす娘 写真左から 清宮千愛さん 佐々木綾香さん 大場恵子さん

Heartwarming excitement.

A variety of events are held throughout Moroyamamachi in time with the changing seasons. The largest of these events is the Sangyo ("Industry") Festival. Held on the second weekend (Saturday and Sunday) of November at Moroyama Sogo Park, the festival sees over 10,000 visitors each year. Around 80 local businesses set up stalls, and every two years a contest is held to select the next 'Miss Yuzu,' who is responsible for helping to promote the region.



歴史と文化に恵まれた毛呂山町。四季の移り変わりとともに、町の各地で様々な行事が繰り広げられます。春には、毛呂本郷のゆずの里商店街と第一団地の長瀬銀座商店街で、地域のお祭りが行われています。どちらも地元に着したお祭りで、地域コミュニティの醸成や商店街の活性化にもつながっています。

夏には、毛呂本郷夏祭りやサマーフェスティバルもろやま。どちらの祭りも毛呂山の夏の風物詩として、多くの人に親しまれています。

秋は、年内で最もイベントの多い季節。毎年11月23日に行われるゆずの里ウォークには、2000人を超える人が、秋色に染まった晩秋の里山を歩きます。

冬には、大類地区でそばまつりが開催され、毛呂山産のそば粉を使った手打ちそばは大勢の人たちが舌鼓を打ちます。

これらのイベントの中で最大のもの、何といても産業まつり。毎年11月の第2土・日曜日に行われ、2日間で1万人を超える人が会場である毛呂山総合公園を訪れます。毛呂山町商工会やJAいるま野毛呂山支店などの協力で、毎年約80組に及ぶ地域の店舗や団体が出店します。

第5代ゆず娘 大場恵子さん、佐々木綾香さん、清宮千愛さん

「ここ数年、毛呂山町は大きく変わってきたと感じています。その一翼を担っているのが「もろ丸くん」なのではないでしょうか。私たちも第5代のゆず娘として、「もろ丸くん」に負けないようにおおいに町を盛り上げていきたいと思っています。そして一人でも多くの方が「できることから毛呂山町に住み続けたい」と思ってもらえるように、頑張っていきたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。」

COLUMN

こがしいい!!

ゆずの里ウォーク

黄金色のゆずがたわわに実る秋の休日に開かれるウォーキングイベントだよ。紅葉が色づく里山を歩くのが気持ちいいと評判で、毎年たくさんのリピーターがやってくるんだ。物産品の販売やゆず湯のもてなしがあるなど、地元住民との触れ合いがあるのも、人気の理由になっているんだね。僕のバッジが参加賞なんだよ。



Yuzu no Sato Walk

A walking event held on holidays in autumn, when the Yuzu hang heavy on the trees.



町長 あいさつ



毛呂山町は、恵まれた自然と先人の築いた歴史と文化を持つ町です。

里山、清流、そして田畑の美しい町。ふるさともろやまに住むことを誇りに思い、希望を胸に日々の生活を営む町民の息吹をこの町勢要覧で感じ取っていただければ嬉しく思います。

都心から50km圏内に位置する毛呂山町は、昭和40年代前半から急激な人口増加により都市化が進み発展を続けてきました。

毛呂の地名が生まれたのは、奈良期中期(710年～794年)頃といわれております。毛呂氏が住み、毛呂郷は毛呂村へと変わり、山根村と合併し毛呂山町へと発展してきました。さらに昭和30年、川角村と合併し現在に至り、本年60年を迎えることができました。この60年の歩みの中、町政運営に対する多くの方々のご理解とご協力があり、それら力の結集によって町は輝かしい発展を遂げてきたものであります。

まちづくりの指針となる「第四次総合振興計画」後、期基本計画も平成27年度に最終年度を迎え、今後、「第五次総合振興計画」の策定にあたり、向こう10年を見越したまちづくりの指針が必要とされており、今後は「協働のまちづくり」が必要不可欠であり、「自助・共助・公助」という考え方が、更に重要になってまいります。これからの町民皆さまと力を合わせ、夢と希望に満ちた毛呂山町に発展するよう精進してまいります。

毛呂山町は、950年以上の歴史を誇る「流鏑馬」の町、全国ではじめて産地化した元祖「ゆず」の町、武者小路実篤の理想郷「新しき村」がある町、そして埼玉医科大学病院による「医療と福祉」の町。毛呂山町のすべてを後世に受け継ぐため、この町勢要覧をご覧になって、町に対しての更なる理解を深め、今後も町政に対しご協力をいただければ幸いです。

平成27年2月

毛呂山町長 井上健次

Message from the Mayor

Moroyama is a town rich in nature and steeped in the history and culture of our forebears, with beautiful countrysides, clear streams and historical neighborhoods. Living in the traditional Japanese village which is Moroyama fills me with pride, and more than anything I hope that this guidebook will impart the spirit of the local townspeople as they go about their daily lives, hope ever in their breasts.

Located within the 50km metropolis sphere of Tokyo, Moroyama experienced a sudden population growth since the first half of the 1960s which has led to continued positive urbanization and development ever since.

The name Moroyama is believed to have been established around the mid-Nara period (710-794). Moro Hamlet, seat of the Moro Clan, became Moro Village, later merging with Yamane Village to become Moroyamamachi. In 1955, 60 years ago this year, Moroyamamachi merged with Kawakado Village to reach its present-day size. Over these 60 years, Moroyamamachi has relied on the support and understanding of many to transform it into the vibrant town it is today.

The 4th Comprehensive Promotion Plan, which is a guideline for development of the town, will also reach the final year of its last stage in 2015. As a result, a 5th Comprehensive Promotion Plan will be established, with guidelines for town planning for the next 10 years. Cooperative town planning, with participation from all citizens, will be indispensable for our future, making concepts of self-help, cooperation and public assistance more important than ever. We will continue to focus on combining the strengths of our citizens to create a Moroyamamachi that is rich in hopes and dreams.

Moroyamamachi is a town with Yabusame (a tradition of horseback archery with over 950 years of history), the first town in Japan to specialize in producing Yuzu (Japanese citrons), the town where Sanetsu Mushanokoji's utopian Atarashiki-mura ("New Village) can be found, and a town with leading medical care and welfare thanks to Saitama Medical University Hospital. I hope that reading this guidebook will deepen your understanding of Moroyamamachi, and that your continued cooperation will help us to carry on into the future all that the town has to offer.

February, 2015

Kenji Inoue, Mayor of Moroyama

議会・行政

毛呂山町議会は4年に一度の選挙で選出された町民の代表である14人の議員で構成されています。年4回開かれる定例議会と必要に応じて招集される臨時議会によって条例の制定や予算などを審議します。常に町民の声に耳を傾け、民意を反映させた方針を決定します。

町では、第4次毛呂山町総合振興計画(後期基本計画)に基づき、自然環境を守りながら、安全・安心で暮らしやすい町をめざし、住民と行政の協働によるまちづくりを進めています。



Assembly/Administration

The Moroyama assembly comprises 14 members, who are voted into office to represent the citizens every four years. Regular and extraordinary sessions are held to deliberate on local regulations and budgets.

The town aims to create a safe and comfortable place to live while also preserving the natural environment. Town planning is carried out through cooperation between the citizens and administration.



緑とふれあいの文化都市

1 住民と行政の協働によるまちづくり

- 住民参画のまちづくり ■ コミュニティ活動の促進
- 人権の尊重 ■ 男女共同参画社会の構築
- 地域間交流・交際交流の推進 ■ 行財政運営の健全化

1. Town planning through cooperation between citizens and administration

- Citizen participation in town planning ■ Community activities
- Respect for human rights ■ Construction of a gender-equal society
- Interregional exchange and friendship ■ Fiscal and administrative consolidation



タウンミーティング(写真は第三団地)



1歳6か月児健診(保健センター)

2 健康で安心して暮らせるまちづくり

- 地域福祉の推進 ■ 高齢者・障がい者福祉の推進
- 子育て支援の充実 ■ 保険・医療の充実 ■ 健康づくりの推進

2. Town planning for healthier and happier lives

- Community welfare ■ Senior and disabled citizen's welfare ■ Child-rearing support
- Ample insurance and medical care ■ Health promotion

3 自然と共生した安全で快適なまちづくり

- 道路・河川水路の整備促進 ■ 公園・緑地の保全 ■ 環境保全の推進
- 防災意識の高揚 ■ 消防・救急体制の強化 ■ 交通安全施設の整備

3. Town planning for safe, pleasant neighborhoods, in harmony with nature

- Road and waterway maintenance ■ Parks and greenery conservation ■ Environmental conservation
- Disaster prevention awareness ■ Fire-fighting and first-aid response ■ Traffic safety facilities



武州長瀬駅北口周辺地区整備事業



そばまつり(写真は大類2・8そばの会)

4 元気に仕事ができるまちづくり

- 農林業の振興 ■ 商工業の振興 ■ 企業の誘致
- 観光施策の推進 ■ 消費者保護

4. Town planning for lively working environments

- Agricultural promotion ■ Commercial and industrial promotion ■ Attracting businesses
- Sightseeing facilities ■ Consumer protections

5 学びを未来に活かすまちづくり

- 生涯学習・青少年の育成 ■ 幼児教育・義務教育の充実
- スポーツ・レクリエーションの普及 ■ 文化財の保存と活用

5. Town planning that creates futures through learning

- Childhood/lifelong learning ■ Ample preschool and K-12 education ■ Sports and recreation
- Cultural asset preservation and application



中学生社会体験チャレンジ事業



松井幸代さん

「現在、教員をしておりますが、毛呂山町は、本当に自然がいっぱいあって、子どもたちの教育環境として良い町だと感じています。また、私が住む地区では、隣近所の人がとてもよく私の子どもの面倒を見てくれたことが印象深く残っています。他のまちから引っ越してきた人にも優しい、子育てにとても良い町だと思います。」

Sachiyo Matsui

I work as a teacher. I think Moroyamamachi, with all its nature, is a great environment for educating children. People in the area look after the children together, and it's also a friendly place for new people moving to the town.

「毛呂山町も合併して60年になるのですね。私は50年ほど前にこの町に引っ越してきたのですが、駅や店舗、病院が近くにあるので、本当に暮らしやすい町だと思います。今でも元気にボランティア活動ができるのは、本当に幸せなことです。子どもたちもここから巣立っていきましたが、いまでもここが故郷だと感じていると思います。」



馬場花江さん

Hanae Baba

I moved to Moroyamamachi around 50 years ago. With the nearby station, shops and hospital, it's a very convenient place to live. My children have since grown up and left the nest, but they still think of Moroyamamachi as their beloved hometown.



矢部昌彦さん

「毛呂山町に店を出してもう56年になります。子どものころと比べると、道は整備され、近所には住宅や店舗が増え、随分にぎやかになりました。毛呂山町は、流鏝馬など歴史も文化もあるし、暮らすには、本当にいい町だと思います。毛呂山町も合併60周年だということですが、私も負けずにまだまだ頑張りたいと思っています。」

Masahiko Yabe

It's been 56 years since I opened shop in Moroyamamachi. With historical culture such as Yabusame, the town is an excellent place to live. It's also been 60 years since the current town was incorporated, and I hope to continue working hard together with my town.

二〇一四	二〇一三	二〇一〇	二〇〇九	二〇〇八	二〇〇七	二〇〇六	二〇〇五	二〇〇四	二〇〇三	二〇〇二	二〇〇一	二〇〇〇	一九九九	一九九八	一九九六	一九九四	一九九三	一九九二	一九九〇
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
26年	25年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年	13年	12年	11年	10年	8年	6年	5年	4年	2年
武州長瀬駅橋上駅舎が完成する。	別榮譽賞を授与する。	瀬戸大也選手の世界水泳選手権大会金メダル獲得を祝し、特別榮譽賞を授与する。	毛呂山総合公園内に花蓮公園が開園する。	町立ゆずの里保育園が開園する。	毛呂山町で「やぶさめサミット」が開催される。	「新毛呂山町史」が刊行される。	泉野学童保育所が開所する。	町内循環バス(もろバス)の運行が開始される。	毛呂山町のマスコットキャラクターが「もろ丸くん」に決定する。	毛呂山町で「やぶさめサミット」が開催される。	防犯活動センターが開始する。	新学校給食センターが開所する。	町立小・中学校に2学期制が導入される。	宮崎県木城町と友情都市の盟約を締結する。	葛川放水路が完成する。	泉野学童保育所が開所する。	町内循環バス(もろバス)の運行が開始される。	毛呂山町のマスコットキャラクターが「もろ丸くん」に決定する。	毛呂山町で「やぶさめサミット」が開催される。



学校給食センター



大類グラウンド

風を切って走る心地よさを体感しよう！



毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

取材時によく見かけるのが、ジョギングをしている人たち。里山の風景のなかを季節の風を感じながら走るのはとっても気持ち良さぞ〜。そういえば、毛呂山町はマラソンが盛んな町でもあるんだ。春・夏・秋には、マラソン大会が、冬には駅伝大会が開催され、県内はもとより、全国各地から多くのランナーが走りに来ているんだって。すごいよね。

You may have seen this on the news before, but joggers are a common sight in Moroyamamachi. The town hosts a number of marathon races and many runners, both from within the prefecture and further afield, come to participate.



町の鳥 ● めじろ 町の木 ● ゆず 町の花 ● きく



2015 毛呂山町勢要覧 合併60周年記念

発行日 ■ 平成27年2月

発行 ■ 毛呂山町

埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

TEL.049-295-2112 FAX.049-295-0771

URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

企画・編集 ■ 毛呂山町秘書広報課

制作 ■ 株式会社文化新聞社